

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立瀬戸田小学校)

- ① 教科等 小学校 図画工作科 ② 学年 第4学年
 ③ 題材名 未来心の丘「光明の塔」に遊ぶ
 ④ 本時の目標 「光明(太陽)の塔」の作品について、「形」や「感じ」を手掛かりに感じたことを交流する。 〈鑑賞(1)ア・イ〉
 ⑤ 学習の流れ(8時間目/全9時間) ◆指導すべき点(しっかり) ★思考力(じっくり) ■発信力(はっきり)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の学習内容の把握 ○「形や色, 感じを手掛かりに自分たちの作品のよさを交流する」というねらいをはっきりもつ。 ○本時のめあてを確認し, 見通しをもつ。	◆自分たちがつくった「光明(太陽)の塔」の作品について意見を交流することを伝え, 学習の見通しをもたせるようにする。	
「光明(太陽)の塔」について、「形」や「感じ」等を手掛かりに感じたことを交流しよう。		
2 表現の工夫 ○「光明(太陽)の塔」の作品製作にあたり, 共通テーマの「湧き出る力」をどのように表現したかを交流する。	■「光明(太陽)の塔」の共通テーマである「湧き出る力」を, 自分はどうのように表現したかを話し合わせる。 ・自分の「光明(太陽)の塔」について、「湧き出る力」をどのように表現したかを振り返り, 杭谷一東先生の「光明の塔」から参考にした点や自分なりに感じた「思い」などを発表させる。 ・互いの感想を一斉に交流できるように, 教室の環境整備やワークシートの工夫を行う。 ・肯定的な視点で交流できるようにさせる。	
3 友達との交流 ○互いのつくった「光明(太陽)の塔」の作品について「形」や「感じ」を手掛かりに感じたことを交流する。	★自分や友だちのつくった「光明(太陽)の塔」について、「湧き出る力」の表現を中心に「形」や「感じ」を手掛かりに感じたことや思ったことを交流させ, 考えを深めさせる。 ・同じテーマでつくった作品についても人によってそれぞれ感じ方が違い, それぞれに面白い表現ができることを感じ取らせる。 ・「光明(太陽)の塔」の作品を基に, 作品には表現した人の思いが詰まっていることや, 形や色の工夫によって面白い表現ができることに気付かせる。	〈鑑賞の能力〉 「光明(太陽)の塔」の作品について、「形」や「感じ」を生かした表現のよさを感じている。 (発言内容・ワークシート)
4 本時のまとめ ○学習を振り返る。	・見る楽しさや表現する楽しさを共有しながら作品の見方を広げる活動のよさに気付かせる。	

設定した言語活動を通して育てたい力

- 話し合い活動を通して児童が自分なりに意味や価値をつくり出し, 作品の見方, 感じ方を深めることができる力。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 思考を深めさせるために, 話し合う視点を明確した問いを工夫する。
 ○製作過程における個の思いや考えを整理させるために, ワークシート(ポートフォリオ)を活用させる。